

平成25年度 新潟市立図書館指標別評価シート

シートNo.2
秋葉区(新津図書館・荻川地区図書室・金津地区図書室)

区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対前年度比	図書館運営全体				
図書館運営	基本的サービス					自己評価		外部評価		
	資料購入費:決算数値(千円)	14,894	14,626	14,726	0.6%増	・蔵書冊数の減については、新館開館に備え古い資料の除籍、買替を進めたため減少している。 ・登録者については学校への呼びかけや窓口での積極的な説明等により若干増加したと思われる。	1 大変評価する。 66.7% 2 ある程度評価する。33.3% 3 評価できない。 - %	・新しい施設となった図書館は新しい図書館に求められることを利用者に提供して欲しい。 ・新規利用者が増えていることは良いこと。 ・ブックスタートの際に知らない人が多いのでPRをして欲しい。		
	蔵書冊数(点)	182,441	170,106	163,145	4.1%減					
	貸出冊数(点)	312,322	312,108	276,630	11.3%減					
	登録者数(人)	9,083	9,943	11,052	11.1%増					
(内新規登録者数)	1,016	958	1,272	32.7%増						
区分	評価指標	平成23年度	平成24年度	H25目標値	理由	平成25年度	評点	評価(次年度への展開)		
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館					自己評価		外部評価		
	レファレンス件数(件)	451	396	420	駐車場減少のため予約は減少すると予想。	393	2	レファレンスは昨年度とほぼ同数。個人予約は減少。	1 大変評価する。 16.7% 2 ある程度評価する。83.3% 3 評価できない。 - %	・利用を増やすには駐車場の整備が課題である。 ・駐車場の減少にも関わらず現状維持できたことは評価できる。 ・レファレンスの件数による比較はなかなか難しいものがあると思う。 ・インターネットの予約画面で確認の繰り返しが多く煩わしい。
	個人予約件数(件)	51,948	57,198	55,000		53,971	1			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—		—	—			
	ホームページアクセス件数(件)	—	—	—		—	—			
	分権型図書館					自己評価		外部評価		
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	14,721	14,970	15,000	現状維持	15,179	3	貸出冊数は昨年度を若干下回った。蔵書冊数は微増。	1 大変評価する。 33.3% 2 ある程度評価する。66.7% 3 評価できない。 - %	・館の重点項目でもあり、様々な郷土の人の紹介(作品、写真など含め)などもマンネリ化しない展示を望む。 ・郷土資料の収集や保管は公共図書館の大切な業務である。今後も継続して欲しい。 ・新津図書館にどんな郷土資料があるのかもPRして欲しい。 ・この分野は一定のニーズがある。現状が妥当な線だと思う。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	1,986	2,079	2,000		1,968	2			
	学・社・民融合型図書館					自己評価		外部評価		
	児童書の貸出冊数(冊)	88,976	87,732	85,000	児童対象にした項目は駐車場減少により利用も減ると予想。職場体験は現状維持。	74,396	1	児童対象項目はほとんどが減となった。駐車場の関係で減少したことが大きいと思われる。	1 大変評価する。 16.7% 2 ある程度評価する。83.3% 3 評価できない。 - %	・移転改築で駐車場が狭くなっていたので、結果についても評価できると思う。
	小中学生への貸出冊数(冊)	41,265	38,264	38,000		44,500	2			
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	3,173	2,844	2,800		2,680	2			
	職場体験受入人数(人)	10	12	10		11	3			
	講師等としての派遣職員数(人)	0	1	1		2	3			
	パートナーシップ型図書館					自己評価		外部評価		
図書館事業のボランティア活動者数(人)	850	1,039	1,000	現状維持	961	2	よみきかせや児童関係の事業でボランティア活動者数が減少。積極駅に声をかけて参加に結びつける。	1 大変評価する。 - % 2 ある程度評価する。100% 3 評価できない。 - %	・図書館活動の中でボランティアに頼らなければできない事が多くなっていると思う。どういう組織でボランティア活動者を維持していくのがよいか他館の例も参考にして欲しい。 ・ボランティアをしてみたいと思っても、どうしたらいいかわからない人もいるため、PR活動やボランティア養成講座の実施が必要。 ・延べ1,000人もの方々がボランティアとして活動しておられることに感謝をしたい。	
ボランティア団体交流会参加者数(人)	—	—	—							—
利用者懇談会の開催回数(回)	—	—	—							—
共催事業の実施回数(回)	6	6	5							事業は1つ減少。
運営(職員)					自己評価		外部評価			
研修参加職員数(人)	9	13	10	現状維持	16	4	資料デジタル化研修など今後の事業、サービスに参考になるとと思われる研修積極的に参加した。	1 大変評価する。 66.7% 2 ある程度評価する。33.3% 3 評価できない。 - %	・研修によりより良い図書館を目指してほしい。 ・積極的に研修に参加して欲しい。 ・本に対する知識の取得、館運営のスキルアップには終着点がありません。	

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成